



奈良町にぎわい通信

Vol.15

二〇一六・小暑〜大暑

発行
奈良町
にぎわいの家





倉橋みどりさんによる恒例の二十四節気講座。季節の味わいを節気とともに。



町家講座は東実千代先生(畿央大学)による「町家のくらし環境」



1年を通しての町家の温度から快適に住むための工夫など。



すっかりおなじみ。かまどごはん体験。



ムジクフェスト参加「町家で唱歌」満員御礼！
嶋田純子さんののびやかな歌と小宮ミカさんのピアノ。
北原白秋、野口雨情の大正期の歌詞を味わって。



「貝の口」完成！



「みんなで針仕事」和裁国家技能士の松本美波さんの指導で、みんなでちくちく。

奈良町にぎわいの家 6月のイベントから



『芸三職 森川杜園』著者
大津昌昭先生によるお話。

「杜園忌」



朗読劇「友吉から杜園へ」
皆さんの熱演！
(詳細は「杜園忌」レポートを！)



美味しい梅干しになあれ！



人気の梅仕事。わいわい言いながら、
一緒に作業は楽しい！



にぎわいの家「森川杜園」企画第2弾！2016「杜園忌」レポート

奈良人形(一刀彫り)の名人、森川杜園が、このにぎわいの家のすぐ近くに住んでいたことから生まれた企画。昨年の第1回企画は、7歳から75歳までの市民の方が参加、大津昌昭先生の小説「芸三職 森川杜園」をテキストに、脚本化、朗読劇を演じました。今年は朗読劇と大津先生の講演という二本立て。少年、友吉が、17歳で杜園という名前を授かるまでに絞っての構成です。

①朗読劇「友吉から杜園へ」…昨年の参加者から、5名の方が出演。計4回の稽古にもかかわらず、杜園役の方は、子ども時代と晩年を演じ分け、杜園の師である国学者の穂井田忠友役の方は、落ち着いた優しい口調で朗読され、人物の個性を感じる語りに大きな拍手が。

②大津昌昭先生のお話「若き杜園が出会った人々」

杜園を導いた、穂井田忠友(国学者)、内藤其園(絵師)、梶野良材(奈良奉行)の紹介と、長年、教育の現場に携わってこられた大津先生ならではの、杜園の残した作品から読み取る若き杜園像や、史料保存館に委託保管されている杜園作品の解説含め、多岐にわたるお話でした。本番前に先生は、杜園のお墓参りにもいかれたと聞き、杜園のまなざしが近くにあるようで、有り難く思いました。

③お客様の声(アンケートより)

- ・杜園を全く知らず拝見したが、人物が目の前にいるようだった。先生のお話も興味深かった。
- ・朗読、お話から、奈良の町が豊かだったと思った。こういう機会があり良かった。
- ・大好きな一刀彫りの杜園のお話、嬉しく楽しい幸せな時を過ごせた。
- ・昨年、見にいけなくて残念だったが、今年は来られて良かった。来年も楽しみ。

来年はいよいよ、奈良人形に向き合う杜園を！杜園の生きた時代の空気が未来につながる企画になりますよう、皆様、応援ください

当館プロデューサー おの・こまち



当日、史料保存館に展示されていた、杜園作の鹿の絵。奈良の家に伝わる杜園作品を身近に鑑賞できる有り難さは奈良町ならではの。

「にぎわいの花 奈良町で咲かそう」

～6/6「いけ花の日」に～

奈良県華道会によるお花の数々。にぎわいの家の空間が花の力で華やかに生き生きとにぎわいました。先生方、ありがとうございました。



奈良町にぎわいの家・二十四節気企画
オリジナル短歌&書&マークをお楽しみください。

短歌
喜多隆子(歌人)

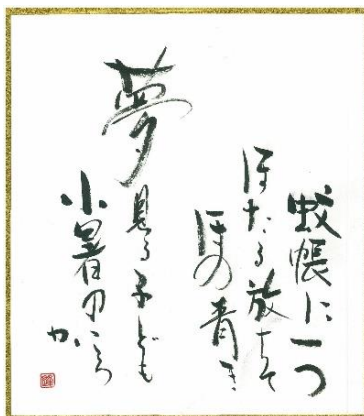
書
逢香(書家)

節気マークデザイン
金田あおい(藍寧舎)



蚊帳は、網戸が普及する昭和四十年頃まで、夏の夜には必須のアイテムでした。吊られた蚊帳の中で眠る独特の雰囲気を感じて、独特のやさやかな光を感じながら、夢うつに寝入る子ども。「ほの青き」は、蛍の光でもあり、幼い時間を刻む子どもたちの夢の色でもあります。蚊帳という不思議な空間の詩情がよく伝わる、素敵なお歌です。

蚊帳に一つぼたる放ちて
ほの青き夢見る子ども小暑の頃か



事務局だより

2016
大暑号

熊本から

事務局長 藤野正文

7月、二十四節気では小暑、大暑。奈良町を歩く方も暑さに負けそう。にぎわいの家の畳の上・縁側で、日常の喧騒を離れてたずんでいただき、様々な思いを巡らしていただければと思います。

7月の初めにこの4月に発生した熊本地震の被災地を訪問する機会を得ました。被災約3カ月を経過しますが、避難所にまだ多くの方々が寝泊まりをされ、復興の見通しがまだ見えない、本当に心痛む状況が続いています。道路の復旧や倒壊家屋の除却、仮設住宅への入居がはじまり、各地域での復興計画が立てられ、徐々に生活が回復していくことと思われませんが、現地の方々の苦労を思うと祈らずにはいられません。

熊本城の被災も目をつぶりたくありませんが、奈良町と同じ歴史的な地域、熊本城の城下町（古町・新町約80ヘクタール）でも、町家などの歴史的建造物が被災しました。明治10年の西南戦争以後に建てられた建物で今でも300軒近い建造物があるようですが、行政から何ら保護の手立てのない建物がほとんどです。地域の有志が「くまもと新町古町復興プロジェクト」を立ち上げ、がれき撤去の作業、募金による雨よけシ

ートの配布、町家を借りて相談窓口の設置、お店の再開支援などを始められていました。これからの復興に向けて市役所と話し合いを始めるとのこと。「熊本のアイデンティティであるこの城下町の資産を生かしながら、地震前以上の素敵な町を作っていきたい」という地元の方々の厚い思いが感じられました。多くのボランティアと従来のやりかたにとらわれない地域の状況に応じた自らの発想による自主的な取り組みと行政との協働の仕組みが生まれてくると思います。今はともかく、熊本の人々のこころの奥にある思い。日常の何気ない生活・近隣のコミュニケーションが一瞬にして崩壊した悲しみ。見慣れた風景や親しんでいた建物が消えてしまった喪失感を少しでもこころに留めていただければと思います。

来館者の方に短冊に
願い事を書いていただく
七夕まつり。今年は国際色
豊か！英語、フランス語、
中国語、イタリア語など。



にぎわい七夕まつり



6月蔵展示 伏見中学2年生版画展 「奈良の彩(いろ)」より

色彩豊かな奈良の名所版画と中学生ならではの言葉に来館者から「すごい！」と声。



奈良町にぎわい通信vol.15

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

イベント、講座情報は、ホームページ、フェイスブックからご覧になれます。是非、ご参加ください。

奈良町にぎわいの家二十四節気マークから



小暑 7/7~
白南風吹いて

七月の節気



大暑 7/22~
梅雨あけ夏の盛りへ

夏休み、親子でにぎわいの家へぜひ！かまどでカレー、町家探検、そうめんイベントなど、懐かしい木の空間で夏の思い出を作りませんか？お待ちしております。